

[越水対策]

簡易型積み土のう工

必要な ●資材 ■工具 ★人数 (1箇所当たり【長さ5m】)
●土のう80袋
●ブルーシート1枚【3.6m×5.4m】
■一輪車2台
★必要人数5人



シートの設置

水密を保つためブルーシートを活用する。
堤防斜面上流部から0.5～1.0m程度の位置に積土のうを設置できるようシートを張る。
あおりを防止するため、重り土のうを仮置きする。

1



1段目の土のう

1段目の土のうをしばり口を下流側に向け、上流より並べる。

2



2段目の土のう積み

内・外側ともに1段目と同様に2段目を積む。
段数が多い場合、2列目はサポートの目的で1段目から小口積とする。

3



概要

杭を使わずに行えるような比較的小規模な越水に対する工法です。一般家屋やビルの入口などへの浸水被害の防止にも用いられます。



川側3段目の土のう積み

さらに、川側に3段目の土のうを積む。



4



シートの折り曲げ

積土のうをシートで包む。



5



あおり止めの土のう

包んだシートのあおりを防止するため、土のうを上部にとところどころにおく。

6



★留意点：延長が長く2組以上施工する場合は、下流側のシートが上流側の内側になるよう重ね合わせる。

7